

# 公共施設マネジメントの導入支援に向けた取り組み

コンサルタント国内事業本部 インフラマネジメント事業部 都市・交通計画部 津島 葉子 他

## ○キーワード

公共施設、ストックマネジメント、ファシリティマネジメント、アセットマネジメント、ライフサイクルコスト (LCC)、施設管理、保全計画、再編計画

## ○概要

公共施設を管理する地方公共団体は、施設の老朽化、維持管理に充てる財源不足、ニーズの変化等により、総量や用途、管理方法の見直しを迫られており、保有する公共施設を経営的・戦略的視点から、総合的かつ統括的に運営・管理・活用していくことが求められている。一方、現状の地方公共団体における公共施設管理は、施設の状況を職員が十分に把握できておらず、保有する施設全体をマネジメントするという共通認識の醸成も十分とはいえない。

昨今の地方公共団体の厳しい財政状況や果たすべき説明責任を踏まえると、地方公共団体は公共施設の施設管理者として、保有する施設全体の状況を把握して施設の運営・管理に関する判断を行い、安全・安心な施設の維持やサービスの提供、財政の健全化に繋げていく必要がある。我々は、それらの課題解決を支援する仕組みとして、職員自らが施設の状況を調査・評価して、公共施設管理への意識の醸成を図り、今後の整備方針の判断・事業化を進めていくことができる「公共施設マネジメントサイクル」の構築を提案している。

本稿では、我々が提案する公共施設マネジメントの導入にあたっての流れと、各ステップの考え方や具体的実施内容を説明するとともに、作業の簡便化のために構築した管理・分析ツールを紹介する。

## ○技術ポイント

地方公共団体の職員が公共施設マネジメントサイクルを運用できるように、次に示す工夫をしている。

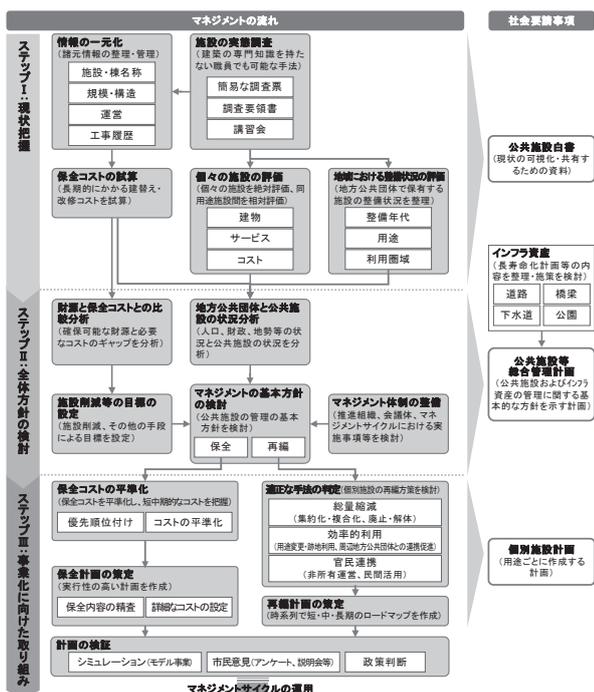
- ① 施設管理者として日常的に施設管理を行う意識を醸成するために、職員による施設の実態調査を導入
- ② 施設の実態調査にあたっては、建築の知識を持たない職員が調査することができる点検項目の設定と評価指標の設定、調査方法を説明する調査要領書の提供、調査講習会の開催を実施
- ③ マネジメントサイクルの運用を支援するために、情報管理や評価、コスト算出の作業を簡便化する汎用ソフトを用いた管理・分析ツールを構築
- ④ 地方公共団体の状況（既存の調査方法、公共施設管理に関して重視するポイント、職員の理解度等）に合わせて、収集する情報項目や調査項目、保全コストの単価の変更・拡張ができる仕組みを構築

## ○図・表・写真等

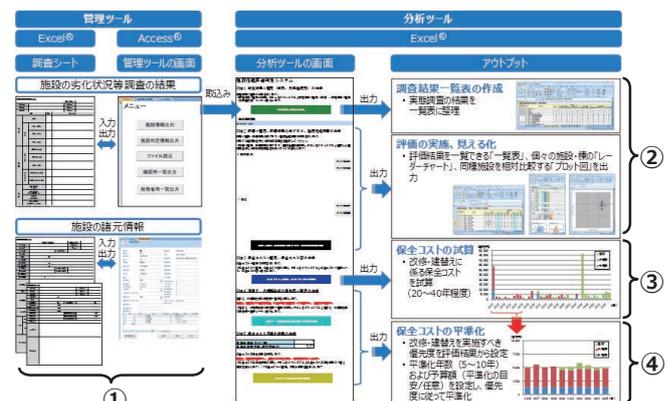
### 管理・分析ツールの機能・仕様

ツールの名称	機能	仕様
管理ツール (データベース)	① 諸元情報および施設の実態調査結果を一元管理する	Access® Excel®(帳票)
分析ツール	② 施設視点の評価を行う	Excel®
	③ 保全コストの試算を行う	
	④ 優先度の設定および保全コストの平準化を行う	

※Excel, Accessは米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。



公共施設マネジメント導入に向けた流れ



管理・分析ツールの全体像